

**TOKIO****応接テーブル FT-1050(BR・W)****取扱説明書・組立説明書**

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用いただきますよう、お願いいたします。お読みになったあとは大切に保管してください。



- 警告**
- 廃棄するときは専門業者にお任せするか、購入店へご相談ください。  
焼却すると有毒ガスが発生することがあります。



- テーブルに腰を掛けたり、乗ったりしないでください。倒れてけがをすることがあります。
- テーブルの上にトータルで最大積載質量45kg（等分布）以上となるものを載せないでください。  
変形、破損及び落下してケガをすることがあります。
- 設置場所は段差や大きな凸凹がない所を選び、アジャスターが4ヶ所同時に接地することを確認してからご使用してください。
- 移動するときは、引きずったり、押したりしないでください。変形、破損の原因になります。
- ボルトやネジがゆるんだまま使用しないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- 乱暴な取扱い、改造、分解は絶対にしないでください。破損やけがをすることがあります。
- 異常を発見したまま使用しないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- 用途以外では使用しないでください。けがをすることがあります。
- 直射日光や、ストーブなどの高熱を避けてください。変形、変色及び火災の原因になります。
- 高熱のものを直接テーブルの上に置かないでください。変形、変色、破損の原因になります。
- この製品は室内用です。野外、水のかかる所では使用しないでください。  
また、湿気、乾燥の著しいところも避けてください。天板がたわんだり、変形することがあります。

**健やかな空気質の確保のために換気励行のお願い**

- 製品購入時の注意事項  
購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は、換気や通気を十分に行うように心掛けてください。室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。
- 温度や湿度の変化による換気の励行  
室内が著しく高温多湿になる場合（温度 28°C、相対湿度 50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

**品質表示**

品番	幅 (mm)	奥行 (mm)	高さ (mm)	質量 (kg)	構成部材
FT-1050 (BR: ブラウン) (W: ホワイト)	1000	500	450	20.8	天板部・棚部：18mm厚 両面：低圧メラミン化粧板・芯材MDF、PVCエッジ 桁：20×40スチールパイプ 細体塗装（シルバー色） 脚部：30×30スチールパイプ 細体塗装（シルバー色）

**お手入れ方法**

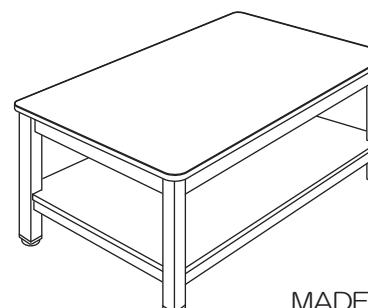
通常は柔らかい布で乾拭きしてください。汚れた場合は薄めた中性洗剤をよく絞った布で汚れを拭き取り、洗剤が残らないように水に浸し固く絞った布で汚れを拭き取り、その後柔らかい布で乾拭きしてください。

※シンナー・アルコール・磨き粉類は使用しないでください。

**保証期間**

目的以外の使用、取扱い上の不注意、乱暴な使用による故障などを除き、通常の使用状態における本製品の保証期間は、下記の通りとなっております。

ご購入日より	対象部分
1年間	表面部 塗装及び部品の変・退色、天板の著しい劣化
3年間	構造部 脚部の構造部品の破損



MADE IN CHINA

**藤沢工業株式会社**

本社：岐阜市日野南7-1-7  
TEL: 058(247)3311  
東京：東京都中央区八丁堀2-8-2 八丁堀共同ビル3F  
TEL: 03(3552)8824  
大阪：大阪市中央区安堂寺町2-2-11 NTビル7F  
TEL: 06(6761)5511  
九州：福岡市博多区山王1-16-26 筑紫センタービル 205  
TEL: 092(433)5599

**部材・部品一覧**

(組立前に、組立部材・組立部品をご確認ください。)

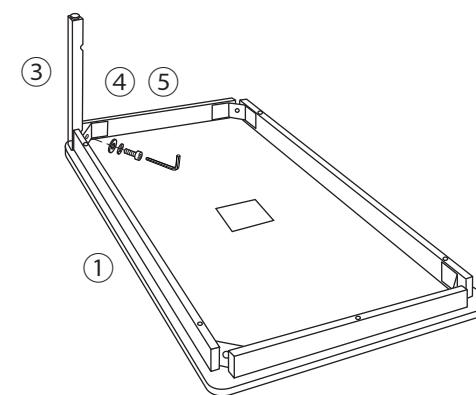
①天板	②棚板	③脚	④脚用ボルト M8×35 スプリングワッシャー・ワッシャー付き 8セット
			※予備 キャップボルト 1本 ⑤6角レンチ 1本

**組立方法**

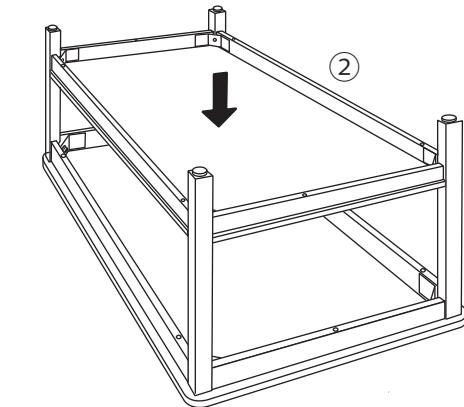
(FT-1050の組立は、2人以上で行ってください。)

**手順①**

①天板を逆さに置き、③脚の内側の穴と①天板の穴が合うように置き、④脚用ボルトにスプリングワッシャー・ワッシャーを通して、③脚に⑤6角レンチで仮締めします。

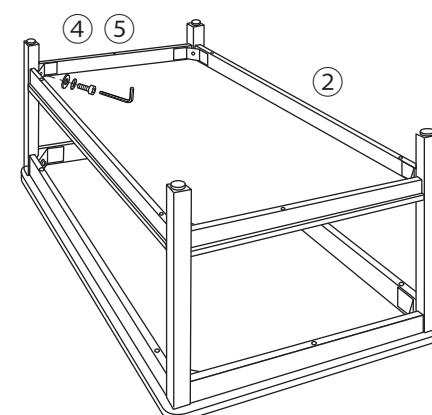
**手順②**

②棚板を逆さにし、脚を広げながら上から入れます。

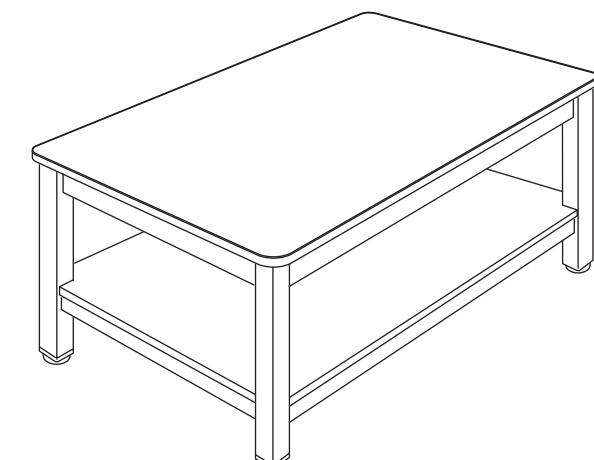
**手順③**

②棚板を支えながら③脚の内側の穴と②棚板の穴を合わせ、④脚用ボルトにスプリングワッシャー・ワッシャーを通して、⑤6角レンチで確実に締めてください。

手順①で仮締めした④脚用ボルトを本締めしてください。  
(ボルトはスプリングワッシャーが潰れるまで確実に締め付けてください)

**手順④**

テーブルを起こして完成です。

**!**

棚板を一人がしっかりと持ち上げ、対角の脚に仮締めすると、作業が楽になります。

※ガタツキがある場合は、アジャスターで調整してください。  
ガタツキが大きい場合は、この状態で④ボルトを全て緩め、ガタツキが解消された状態で④ボルトを再度確実に締め直してください。

2013.12